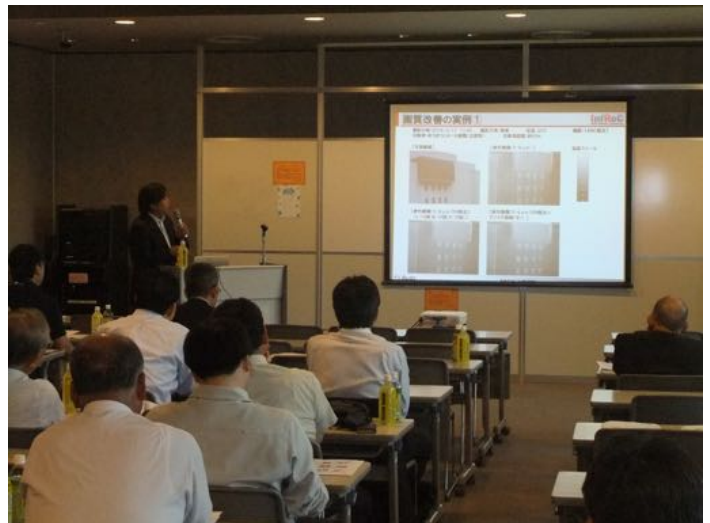


# 研究会ニュース Vol.4 2016年7月20日発行

## 第二回定期総会を熊本で開催

7月15日に、当研究会の定期総会が熊本市国際交流会館で会員23社の出席の中で開催されました。総会では、議長に高木偉会長が選出され、平成27年度事業報告・決算及び平成28年度事業計画・予算などが全会一致で承認されました。



また、以下の通り、昨年度の事業報告が行われました。

- 住宅インスペクション技術の開発・高度化事業に関する報告  
副会長 東出 憲明 (INDI株式会社 代表取締役社長)
- 赤外線調査マニュアル作成に関する報告  
理事 藤川 清士 (九州テクノ株式会社 代表取締役社長)
- USMCA2016 (ネパール) 参加報告  
事務局 菊地 孝 (ケイプラス株式会社 代表取締役社長)



- |           |        |  |
|-----------|--------|--|
| ※今年度の活動予定 | 10/    | 赤外線調査マニュアル勉強会(福岡)                              |
|           | 11/7~9 | USMCA2016(フィリピン タクロバン)                         |
|           | 1/     | 赤外線調査マニュアル勉強会(東京)                              |
| 年間活動      |        | 赤外線調査マニュアル作成プロジェクト(改訂版)                        |
|           |        | サーモグラフィによる建築温熱環境・劣化診断法の標準化及び<br>評価手法技術開発プロジェクト |

赤外線調査マニュアル作成については、継続して作成作業を進めていきますが、会員の皆様へは、完成次第、勉強会を開催することでこのマニュアルの内容をご紹介します予定です。さらに、サーモグラフィによる建築温熱環境・劣化診断法の標準化及び評価手法技術開発プロジェクトについても継続して取り組んでいきます。

# 熊本地震被災地を視察

総会翌日の7月16日には、4月に発生した熊本地震の被災地を視察いたしました。藤川理事（九州テクノ）の案内により熊本市内から益城町、西原町をバスで移動しながらの視察が中心でしたが、一部では、バスを降りて歩いての視察も行いました。



\*\*\*\*\*

来年度の総会は、札幌で開催します。

定期総会より前に行った理事打ち合わせにおいて、来年度の定期総会を札幌で開催することといたしました。例年通り7月に開催する予定ですが、詳しい日程、会場につきましては改めてご案内申し上げます。

\*\*\*\*\*

## 事務局だより

事務局の菊地です。4月に発生した熊本地震で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。事務局では、地震発生の前から今年度の総会を熊本で行うことで準備をしておりましたが、震災の発生により、当初は場所の変更、あるいは延期・中止も考えざるを得ない状況となりました。しかし、研究会として、熊本で総会を開催することは、構造物の調査診断に関わる企業集団として意味があるだろうという判断により、予定通り実施することといたしました。急遽、被災地視察も行いましたが、12名の会員様が参加し、実際に現場を歩いて回ることもでき、その状況を目の当たりにすることができました。今回、総会ならびに視察において、多大なるご尽力を賜りました九州テクノ株式会社の藤川会長、藤川社長、さらに社員の皆様には、心より感謝いたします。

(一社) 赤外線構造物診断研究会 会報  
事務局：さいたま市中央区大戸3-6-11  
(ケイプラス株式会社内)  
TEL/FAX：048-638-0084  
E-Mail：info@tvs-bld-isp.gr.jp